



高輪だより

令和4年度 2月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

わくわく ぼかぼか
みんなえがおの
たかなわようちえん

節分・立春を迎えて

高輪幼稚園長 柿沼 敦子

今年度も残り2か月となりました。年少児も門で、おうちの方に「いってきます」と言い、靴箱まで向かうようになりました。近くにいる年長、年中児が優しく寄り添う姿は大変微笑ましく、互いの成長を感じる場面です。

さて、最近の各学年の様子についてお知らせします。年少児は、これまでは、自分の思い通りにならない気持ちなどを、ありのままに表出し、教師の言葉も受け入れられないまま、立ち直るのに時間がかかっていました。しかし、近頃では、教師の言葉をふと、自分の心の中に取り込んで、どうしようかなと考えているような様子を見せるようになり、自分なりのきっかけを見出して次に進めるようになってきています。

年中児は、友達との関わりが楽しくて仕方がない様子です。友達と一緒に遊ぶことが上手になってきているとはいえ、関わりたいがゆえにふざけ過ぎたり、誰かの心を傷つけてしまったり…先生が介入して、子どもたち同士で考える時間をつくり、毎日起こる心の衝突の中で体験的に人との関りを学んでいる最中です。喧嘩していた友達と、また仲良く遊んだり、また喧嘩したり…そんな関わり方の積み重ねで他者理解が進んでいます。

年長児は、個性様々な鬼のお面ができあがっていく中で、幼児同士が自分の中の「追い出したい鬼」について語り合っていました。自分の鬼について語ると、その言葉を受けて周囲の子たちも納得するという場面があり、年長のこの時期になると、自分の事も友だちの事もよく分かってくるのだなど改めて思いました。また、劇への取組、グループ活動、普段の遊びなど様々な場面で、協同的な取組をすることが数々ありますが、6月の高輪子ども祭りの頃には、教師が介入しなければ話し合いが成り立たなかったことを思うと、教師がいなくても自分たちで進めたり、課題を解決したりできるようになってきていて大きく成長していると感じています。

2月3日は節分です。「豆」は「魔滅(まめ)」に通じ、豆まきをして無病息災を祈る日です。子どもたちは自分で作ったお面をつけて豆まきをします。次の日は立春。そして子ども会、子どもたちが楽しみながら取り組んでいる劇をおうちの方々に見ていただけます。春のはじまりの日に子どもたちの成長した姿をご覧ください。

子ども会をお楽しみに

3歳児 3びきのこぶた



4歳児 さるかに合戦



5歳児くすのき団地は6かいだて



たかなわんだふる



桂坂を花いっぱいにする活動

高輪幼稚園では 年に4回、地域の高輪親睦会さん中心に高輪台小学校、高輪保育園、高輪児童館、桂坂学童クラブ、高輪消防署、東京電力の皆さんと一緒に桂坂の花壇に花を植える活動をしています。赤十字奉仕活動としても取り組んでおり、黄色いスカーフをつけています。幼稚園のPTA活動として保護者の方々も花を抜く日と植える日の年8回、ご協力をしていただいています。

